

PRESS RELEASE

ドクターカー更新へ第一目標を達成 【第二目標 3,600万円】記者発表を行いました

2025年12月26日(金)16:00～16:30 @知多半島総合医療センター

知多半島総合医療機構は、現在実施中のクラウドファンディングに関し、第一目標として掲げた1,500万円を達成したことを受け、ドクターカー購入の実現に向けた第二目標を発表する記者発表を行いました。

本記者発表では、第一目標を達成したことの御礼と、第二目標を設定した背景について説明しました。

本プロジェクトは、知多半島地域の救急医療体制を維持・強化するため、老朽化したドクターカーの更新を目的とした取り組みで、2025年11月18日(火)から2026年2月13日(金)まで、クラウドファンディングサービス「READYFOR」にて寄附を募っています。

(プロジェクトURL：<https://readyfor.jp/projects/CMC-doctorcar>)



記者発表で説明した内容

ドクターカーの導入には車両本体に加え、医療機器の搭載、架装が必要となり、全体で約3,600万円の費用を要します。第一目標の1,500万円は、その全体計画の一部として設定したもので、第二目標には『3,600万円』を設定しました。なお募集期間については、変更ありません。

コメント 知多半島総合医療センター 副院長/プロジェクト実行責任者

太平 周作（おおひら しゅうさく）

多くの皆様から温かいご支援をいただき、第一目標を達成することができました。ご支援くださいました皆様へ、心より御礼を申し上げます。

プロジェクト開始当初は、総額の一部をクラウドファンディングで支援していただこうと考え、第一目標を1,500万円としました。こんなにも多くのご支援、そして温かい応援の声をいただき、救命医療に携わる身として大変な励みとなっています。ご支援いただく中で、「費用の総額を明示して、残りの期間に必要な金額を募集してはどうか」との声を多数いただきました。そういったお声に背中を押していただき、医療機器、架装などを含めた、ドクターカー導入にかかる費用の総額3,600万円を今回、第二目標に設定しました。

ドクターカーは、地域住民の命を守るための大切な財産です。「あと一步、間に合っていれば」そんな悔しい思いを繰り返さないため、私たちはドクターカーの更新実現を強く願っています。

2年前の能登半島地震の際にも災害派遣医療チームはこのドクターカーで被災地に入り、“動ける医療”の重要性を痛感しました。

引き続き多くの応援のお声をいただいていることを励みに、機構一丸となって取り組んでまいります。皆様の温かいご支援が、明日の命を救う力となります。どうか変わらぬご理解とご支援、そして情報の拡散にご協力賜りますよう、何卒お願い申し上げます。